

日本農業新聞

金沢市のNPOが農商工セミナー

ビジネス連携を促す

【いしかわ】特定非営利活動法人(NPO法)は18日、同市の金沢流通センターを会場に、交際関係のNPOが農商工連携を促すセミナーを開き、交流を促進した。

セミナーには県内の農事組合法人や米作農家をはじめ多様な分野から約40社・団体が参加。ブドウ栽培を本業にカフエや菓子店を出店する同市の(株)ぶどうの木の本昌康代表が「新商品の種づくり方」について講演、事業展開で得たヒントやアイデアを披露した。

同支援機構の島嘉伸理事長が「支援機構が認証すると、国から設備投資額の3分の2の補助が受けられるので積極的に活用してほしい」と参加者に呼び掛け、高元仁専務が農商工連携のフレームについて説明。JA金沢市五郎島さつまいも部会と連携した食品製造業かわの河二敏雄代表、漁業の(株)ジェファと連携した食品製造業オハラの小原繁社長がそれぞれ事業の経緯や取り組みについて紹介した。

参加企業の中から連携を希望するせつけん工房 エステル(白山市)、モニター調査のウーマンスタイル(金沢市)、ステビア

栽培のタタミ建設(かほく市)などが自社事業をプレゼンテーションし、その後参加者はグループに分かれてマッチング交流した。